

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大谷工業

コード番号 5939 URL http://www.otanikogyo.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 安宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループマネージャー (氏名) 阿部 昇 TEL 03-3494-3731

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,156	△5.4	232	△39.6	265	△36.3	163	△11.9
25年3月期第3四半期	4,392	12.3	381	79.0	416	66.4	185	31.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	18.54	-
25年3月期第3四半期	21.05	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,425	1,959	44.3
25年3月期	4,152	1,809	43.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,959百万円 25年3月期 1,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	2.50	2.50
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期（予想）	-	-	-	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	△4.2	310	△25.3	350	△23.5	210	1.5	23.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	8,800,000株	25年3月期	8,800,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	6,706株	25年3月期	6,108株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	8,793,588株	25年3月期3Q	8,794,298株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
5. 補足情報	9
(1) 役員の異動	9
(2) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による積極的な経済政策や日本銀行による金融緩和策を受けて円安・株高基調に転じており、企業収益や個人消費、雇用情勢の改善など景気は緩やかに回復しつつあります。その一方で、欧州政府債務問題や新興国経済の成長鈍化、鋼材価格の上昇傾向などの懸念材料も多く、先行きは不透明な状況となりました。

当社はこのような状況の中、各事業で拡販に努めましたが、当第3四半期累計期間の売上高は4,156百万円と前年同四半期比235百万円(△5.4%)の減少となりました。

利益面につきましては、売上総利益が900百万円と前年同四半期比161百万円(△15.2%)の減少、営業利益は232百万円と前年同四半期比152百万円(△39.6%)の減少、経常利益は265百万円と前年同四半期比151百万円(△36.3%)の減少、四半期純利益は163百万円と前年同四半期比22百万円(△11.9%)の減少となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 電力通信部門

電力通信部門においては、売上高・利益ともに減少しました。

その要因として架線金物では、通信業界においてコンクリートポールの建替え工事等が堅調に推移しましたが、電力業界における設備投資抑制と入札制度による競争が続いており、当社関連製品も伸び悩んでおります。

一方、鉄塔・鉄構については、電力向け大型鉄塔の新設・改造工事が大幅に減少したため、フェンス等の鉄構でカバーすべく注力しましたが、売上高・利益ともに減少しました。

この結果、売上高は3,079百万円と前年同四半期比496百万円(△13.9%)の減少、セグメント利益は388百万円と前年同四半期比207百万円(△34.8%)の減少となりました。

② 建材部門

建材部門においては、全国的に設備投資が回復傾向にあります。当社においても前事業年度に受注済みの大型物件の施工が順調に進み、また採算重視の受注方針としたこともあり売上高・利益ともに増加しました。

この結果、売上高は1,076百万円と前年同四半期比260百万円(31.9%)の増加となり、セグメント利益は89百万円と前年同四半期比55百万円(162.3%)の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産は、前事業年度末に比べ273百万円増加し4,425百万円となりました。これは、主に現金及び預金218百万円、売上債権132百万円の増加と有形及び無形固定資産56百万円の減少によるものです。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ122百万円増加し2,465百万円となりました。これは、主に設備関係未払金86百万円、仕入債務82百万円、預り保証金45百万円の増加と、未払費用76百万円の減少によるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ150百万円増加し1,959百万円となりました。これは、主に四半期純利益を163百万円計上したことによる増加と、配当金を21百万円を支払ったことによる減少です。この結果、有利子負債比率(D/Eレシオ)は0.2倍と良好な水準にあります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月14日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	346,264	564,923
受取手形及び売掛金	1,388,370	1,519,535
電子記録債権	—	993
商品及び製品	425,197	425,896
仕掛品	326,422	327,339
原材料及び貯蔵品	175,464	190,337
繰延税金資産	69,314	29,786
その他	9,758	16,741
貸倒引当金	△278	△305
流動資産合計	2,740,514	3,075,249
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	200,448	216,230
機械及び装置(純額)	429,064	377,116
土地	475,185	468,722
リース資産(純額)	10,748	83
その他(純額)	56,633	58,180
有形固定資産合計	1,172,080	1,120,333
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	81,133	91,232
その他	99,591	70,938
貸倒引当金	△13,001	△1
投資その他の資産合計	167,722	162,169
固定資産合計	1,411,533	1,349,826
資産合計	4,152,048	4,425,075

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,099,489	785,490
電子記録債務	—	396,455
短期借入金	300,000	300,000
設備関係未払金	81,556	50,569
未払費用	220,196	144,178
未払法人税等	17,999	21,772
その他	92,925	78,067
流動負債合計	1,812,166	1,776,533
固定負債		
長期設備関係未払金	24,499	142,412
退職給付引当金	414,943	413,467
役員退職慰労引当金	49,764	48,720
長期預り保証金	34,742	77,971
その他	6,024	5,975
固定負債合計	529,973	688,546
負債合計	2,342,140	2,465,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,200	655,200
資本剰余金	221,972	221,972
利益剰余金	931,203	1,072,235
自己株式	△1,161	△1,332
株主資本合計	1,807,214	1,948,075
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,692	11,920
評価・換算差額等合計	2,692	11,920
純資産合計	1,809,907	1,959,996
負債純資産合計	4,152,048	4,425,075

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,392,415	4,156,542
売上原価	3,330,332	3,255,966
売上総利益	1,062,083	900,576
販売費及び一般管理費	677,199	668,111
営業利益	384,884	232,465
営業外収益		
受取利息	225	187
受取配当金	2,766	2,357
貸倒引当金戻入額	—	325
作業くず売却益	23,641	28,611
不動産賃貸料	5,680	5,014
雑収入	7,582	8,581
営業外収益合計	39,895	45,078
営業外費用		
支払利息	4,708	5,613
不動産賃貸費用	3,513	6,545
雑損失	10	3
営業外費用合計	8,233	12,161
経常利益	416,546	265,381
特別利益		
固定資産売却益	—	11,037
投資有価証券売却益	2,696	245
退職給付引当金戻入額	559	—
役員退職慰労引当金戻入額	14,902	—
特別利益合計	18,157	11,282
特別損失		
固定資産除却損	11,023	6,094
投資有価証券売却損	42	148
投資有価証券評価損	5,758	—
厚生年金基金脱退拠出金	156,699	—
特別損失合計	173,523	6,242
税引前四半期純利益	261,179	270,421
法人税、住民税及び事業税	32,253	59,425
法人税等調整額	43,844	47,979
法人税等合計	76,097	107,404
四半期純利益	185,081	163,016

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	261,179	270,421
減価償却費	107,260	124,435
貸倒引当金の増減額(△は減少)	861	△12,972
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△35,783	△1,476
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△16,430	△1,044
受取利息及び受取配当金	△2,992	△2,544
支払利息	4,708	5,613
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,653	△97
投資有価証券評価損益(△は益)	5,758	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	11,023	△4,942
厚生年金基金脱退拠出金	156,699	—
売上債権の増減額(△は増加)	△19,976	△132,158
たな卸資産の増減額(△は増加)	30,796	△16,489
仕入債務の増減額(△は減少)	116,182	82,457
その他	△23,836	△72,237
小計	592,799	238,965
利息及び配当金の受取額	2,992	2,549
利息の支払額	△4,396	△5,648
法人税等の支払額	△134,929	△54,077
厚生年金基金脱退拠出金の支払額	△156,699	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	299,766	181,788
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△116,386	△152,268
有形固定資産の売却による収入	13,638	17,500
投資有価証券の取得による支出	△981	△960
投資有価証券の売却による収入	3,264	5,295
出資金の払込による支出	—	△64
出資金の回収による収入	100	—
貸付けによる支出	△1,532	—
貸付金の回収による収入	3,751	1,078
預り保証金の返還による支出	—	△1,205
預り保証金の受入による収入	—	46,384
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,145	△84,239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	—
配当金の支払額	△22,054	△21,883
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△13,109	△10,695
セールアンド割賦バック取引による収入	—	190,179
割賦債務の返済による支出	—	△36,319
その他	△115	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,278	121,109
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△33,657	218,658
現金及び現金同等物の期首残高	512,000	346,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	478,342	564,923

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,576,072	816,343	4,392,415
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,576,072	816,343	4,392,415
セグメント利益	596,036	33,985	630,021

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	630,021
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△245,137
四半期損益計算書の営業利益	384,884

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,079,736	1,076,806	4,156,542
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,079,736	1,076,806	4,156,542
セグメント利益	388,202	89,106	477,309

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	477,309
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△244,843
四半期損益計算書の営業利益	232,465

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

5. 補足情報

(1) 役員の異動

①代表者の異動

該当事項はありません。

②その他の役員の異動

・退任取締役

取締役 奈迫 龍正

(2) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高

セグメント及び品目別売上高

(単位：千円)

セグメント及び品目	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	増 減		
			金額	率(%)	
電力通信部門	架線金物	2,404,209	2,454,376	△50,167	△2.0
	鉄塔・鉄構	587,819	1,082,024	△494,205	△45.7
	その他	87,707	39,670	48,037	121.1
	計	3,079,736	3,576,072	△496,335	△13.9
建材部門	スタッド	1,057,979	810,171	247,808	30.6
	その他	18,826	6,172	12,653	205.0
	計	1,076,806	816,343	260,462	31.9
合計	4,156,542	4,392,415	△235,873	△5.4	

セグメント及び品目別受注高

(単位：千円)

セグメント及び品目	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	
			架線金物
電力通信部門	鉄塔・鉄構	578,844	981,358
	その他	86,114	43,234
	計	3,067,858	3,507,035
	スタッド	1,017,268	691,036
建材部門	その他	18,826	6,172
	計	1,036,095	697,209
	合計	4,103,953	4,204,244

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。

セグメント及び品目別受注残高

(単位：千円)

セグメント及び品目	当第3四半期会計期間末 (平成25年12月31日現在)	前第3四半期会計期間末 (平成24年12月31日現在)	
			架線金物
電力通信部門	鉄塔・鉄構	153,447	371,754
	その他	3,567	4,892
	計	333,521	551,994
	スタッド	331,640	282,386
建材部門	その他	—	—
	計	331,640	282,386
	合計	665,162	834,380

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。